



暑かった夏が終わり、後期が始まります。前期の成績をしっかりと受け止めて、これからの学びに生かしましょう。

Welcome! Sr. Donna Collins

オーストラリアのご出身で、アメリカの聖心で校長をされていたご経験もある Sr. Donna Collins が、今月5日に本校にいらっしゃいました。12月まで授業や課外レッスンでお世話になります。積極的に英語で話しかけ、たくさん学ばせていただきます。

梅干し弁当募金

8月31日(水)に行われた梅干し弁当募金は、国連 UNHCR 協会に役立てていただくために行いました。みなさまのご協力により、**総額 34,313 円**を送金することができました。今回寄付されたお金は、世界で避難を余儀なくされている子どもたちを保護し、支援するために使われます。



| | | 行事 | 弁当 | | | 行事 | 弁当 |
|----|---|---|----|----|---|---|----|
| 1 | 土 | サタデープログラム① 中2英語レッスン 赤い羽根共同募金街頭募金参加(午後) 父の会聖書サークル(16:00~Sr.田口) | | 17 | 月 | 中3 NY国連研修① | 要 |
| 2 | 日 | | | 18 | 火 | 中3 NY国連研修② 高校ロザリオ①(昼休み) | 要 |
| 3 | 月 | 後期開始・後期委員任命式・通知票手渡し 百合の行列(1限) | 要 | 19 | 水 | 梅干し弁当④ 中3 NY国連研修③ 高校ロザリオ②(昼休み) | 要 |
| 4 | 火 | 中学ロザリオ①(昼休み) 後期委員会開始 | 要 | 20 | 木 | 中2家庭学習 高校ロザリオ③(昼休み) 高1高2小論講座(高1:6限, 高2:7限) | 要 |
| 5 | 水 | 中学ロザリオ②(昼休み) 中学2年保護者会オンライン(13:00~) ISAによる中学アメリカ研修説明会オンライン 職員会議(15:40~) | 要 | 21 | 金 | 中2家庭学習 漢字検定(放課後) | 要 |
| 6 | 木 | 中学ロザリオ③(昼休み) クリスマスミサタブローオーデション①予定 | 要 | 22 | 土 | サタデープログラム③ | |
| 7 | 金 | クリスマスミサタブローオーデション②予定 | 要 | 23 | 日 | | |
| 8 | 土 | サタデープログラム②(第2回英検1次) | | 24 | 月 | | 要 |
| 9 | 日 | | | 25 | 火 | | 要 |
| 10 | 月 | 体育の日 | | 26 | 水 | 中学学力推移調査②(午後は普通授業) 課題研究ミーティング⑤ 中2進路校長面談① | 要 |
| 11 | 火 | 中2修養会① 高2見学旅行① 高3進路面談(午後) | ※ | 27 | 木 | カトリック高等学校生徒全道大会オンライン (一部生徒のみ参加) 雪の聖母園野菜販売 中2進路校長面談② | 要 |
| 12 | 水 | 中2修養会② 中3修養会 中3アメリカ研修事前学習 高1SADE① 高2見学旅行② 高3進路面談(午後) | ※ | 28 | 金 | 中2進路校長面談③ | 要 |
| 13 | 木 | 中2通常授業 中3職場体験(予定) 高1SADE② 高2見学旅行③ 母の会修養会 高3進路面談(午後) | ※ | 29 | 土 | サタデープログラム④ 中2進路校長面談④ | |
| 14 | 金 | 中学通常授業 高1SADE③ 高2見学旅行④ 高3修養会 | ※ | 30 | 日 | | |
| 15 | 土 | コーラス部札幌市民芸術祭市民合唱祭参加 | | 31 | 月 | | 要 |
| 16 | 日 | | | | | | |

☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。

☆ 行事予定は暫定のもので、大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

人間関係ミーティング 「新型コロナウイルス感染症への Positive Action : 医療・行政・公衆衛生活動の立場から」



8月31日(水)に、札幌市保健所・岬真一郎先生、札幌医科大学医学部公衆衛生学講座・小山雅之先生、大浦麻絵先生をお迎えし、お話を伺いました。With covid-19 に向けて、これから私たちができることについて考えを深める貴重な機会となりました。

ウクライナプロジェクト 8月29日から9月9日までの10日間、学級委員会と社会福祉委員会が共同企画「ウクライナプロジェクト」

活動の目的は、「ウクライナの現状を知り理解を深め、支援の意識を高める」とこと、「国境なき医師団への募金を通してウクライナの国や人々を実際に支援する」ことです。期間中は、今回の軍事侵攻に関するポスターを毎日違うテーマで教室と1階ウクライナコーナー、2階高3S前廊下に掲示し、朝のお祈りではポスターのテーマに沿ったお祈りを、帰りのSHRでは沈黙の中で一人ひとりがこの軍事侵攻についての考えを整理し、支援のあり方について考える機会を設けました。9月2日と9日には「国境なき医師団」への募金を集め、**総額 66,225 円**を送金することができました。一刻も早くこの深刻な事態が解消され、ウクライナはもちろん、世界中のすべての子どもたちが家族とともに笑顔で暮らせる平和な世界を実現することができますように。

ウクライナへの影響
*影響が広がる持久戦の危険

ウクライナへの軍事侵攻は、ヨーロッパの平和と安定を脅かすだけでなく、世界中に波及する恐れがあります。特に、食料やエネルギーの供給に大きな影響を及ぼすことが予想されています。

ウクライナ国内では、人道危機が深刻化しています。多くの市民が避難を余儀なくされており、医療や教育の機会を失っています。

募金のご協力をお願いします！
募金日(毎月)の告知(告知)

募金の使途は、国境なき医師団を通じて、ウクライナ国内の医療支援や人道支援に活用されます。

募金の使途は、国境なき医師団を通じて、ウクライナ国内の医療支援や人道支援に活用されます。

募金の使途は、国境なき医師団を通じて、ウクライナ国内の医療支援や人道支援に活用されます。

今月のこころのことは

「神のわざは、ゆっくりとかつひっそりと成し遂げられます。」

(聖マグダレナ・ソフィア)

世界中の聖心の学校では10月に「感ずべき御母」を祝います。札幌聖心ではこの絵のレプリカが学習ホールに飾られており、宗教の授業で、百合や糸紬などのシンボルの意味を学び、後期始業の日にはこの絵の前で、聖母に百合をおささげする百合の行列を行います。

創立者聖マグダレナ・ソフィアがローマのトリニタ・デイ・モンティの修道院におられた時に志願者としてやってきたポーリン・ペドロという若い女性によって描かれたものです。彼女は美術を勉強して来たので、聖母マリアの絵を修道院の壁にフレスコ画として描きたかったのです。しかし、フレスコ画を書いたことがなく、その技法を知らなかったと思われます。出来上がった絵の色があまりに強すぎました。そこで、その絵をカーテンで覆わなければならなかったのです。しばらくして、色が壁に浸透し、壁が乾き、カーテンが外された時は今の美しい色になっていたということです。これは技法を知っているものには当然のことかも知れませんが、こうしたことは「ゆっくりとかつひっそり」成し遂げられる神のわざの一つと言えましょう。



マーテルの祝日が近づくと、聖マグダレナ・ソフィアのこの言葉を思い出します。神のわざはこの世界のあらゆるところで成し遂げられるのですが、特に人の成長を考えるとまさにこの通りだと思ふのです。

長い休みの後に学校に戻ってきた生徒を見て、「あら、急に背が高くなった」とか「とても内面的に成長した」と感じる場合があります。周りも本人も気づかないうちに、外見も内面も成長していきます。ですから、保護者も、教師も、本人自身も神のわざがその人の中で行われることを信じていることが大切なのではないでしょうか。はちきれようなエネルギーを秘めて日々成長していく若い命を見守る時、この言葉の意味するところを味わっていきたいものです。

(修道院長 Sr.新庄美重子)